

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

| 公表:令和4年2月18日 |  | 配布数 5 |           |     |     | 回収数 5  |           |       |       | 事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール札幌円山   |  |
|--------------|--|-------|-----------|-----|-----|--------|-----------|-------|-------|--|--|
| 環境・体制整備      | チェック項目   | はい    | どちらともいえない | いいえ | 無回答 | 割合(%)  |           |       |       | 工夫している点  | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標   |
|              |  |       |           |     |     | はい     | どちらともいえない | いいえ   | 無回答   |  |  |
| 環境・体制整備      | 1 利用員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  | ・狭いのでボールプールの位置や設置する感覚道具の数を減らすなどとする。天井の底は手すり。                               | ・決まった音の中で、最大限の効果をおぼられるように、試行錯誤してきたい。   |
|              | 2 職員の配置数は適切であるか  | 2     | 3         | 0   | 0   | 40.0%  | 60.0%     | 0.0%  | 0.0%  | ・現時点ではOK。グループなどを作って負担を減らす。   | ・今後、職員が増えるのではないかと考えられる。事務室の配置、フリアフォームも視野にいれて、通所希望の方が契約できるように、受け入れ態勢を整えたい。                                      |
|              | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか   | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
| 業務改善         | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか   | 4     | 1         | 0   | 0   | 80.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか   | 4     | 1         | 0   | 0   | 80.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 0.0%  | ・開所1か月を経過した時点で、保護者に独自に作成したアンケートを実施した                                       | ・保護者の方の声を聞くことにより、日々の療育への気づきにつながっていると感じるので今後も参考にしていきたい。また、とても嬉しいお声を複数頂戴したので、リリアの「利用者の声」への掲載許可をいただき、掲載させていただきます。 |
|              | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                    | 3     | 2         | 0   | 0   | 60.0%  | 40.0%     | 0.0%  | 0.0%  | ・今年度初めに実施する予定  | ・実施予定。   |
|              | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか   | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  | ・ポイント制など研修を行うことにより認められる制度があると思います  | ・事業所内事例検討会や各種研修の情報共有、書籍の交流等を通して、切磋琢磨しながら、研鑽を積んでいる。   |
| 適切な支援の提供     | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか  | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | 4     | 1         | 0   | 0   | 80.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 0.0%  | ・一応新版K式を参考にしている  | ・新版K式については日々の療育の参考にしており、スクール外の研修にも参加し、各自がスキルアップに努めている。   |
|              | 11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 13 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 3     | 2         | 0   | 0   | 60.0%  | 40.0%     | 0.0%  | 0.0%  |  | ・記録カードの作成・実施など利用員に合わせた段階的な取り組みをしている。<br>・カンファレンス時に次回セッションにつながるような課題について話し合っている。                                |
|              | 14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | 4     | 1         | 0   | 0   | 80.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか   | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか   | 4     | 1         | 0   | 0   | 80.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか  | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | 5     | 0         | 0   | 0   | 100.0% | 0.0%      | 0.0%  | 0.0%  |  |  |
|              | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか  | 3     | 1         | 0   | 1   | 60.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 20.0% | ・現在はそうした会議はない  | ・コロナが収まり今後実施されれば、積極的に参加したい。<br>・他事業所との情報共有や他事業所の指導員からアドバイスももらう機会などができた。  |
|              | 21 母子保健や子ども子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか   | 3     | 1         | 0   | 1   | 60.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 20.0% |  | ・それぞれの児の通う幼保の先生と電話や相互訪問を行って連携して通所児を支援している。   |
|              | 22 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
|              | 23 移行支援として、小学校や特別支援学校(小・中学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  | ・保育所等訪問、小学校の担任、幼児教育センターの先生方との連絡など、他機関との連携ができてきている。   |
|              | 24 他児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか  | 2     | 1         | 1   | 1   | 40.0%  | 20.0%     | 20.0% | 20.0% | ・助言を受けているというところまではいかないが、見学に来ていただくなどしている                                    | ・他事業所への訪問しセッション見学や、連携会議を実施したり、迎に来て頂き、療育の質の向上につながるアドバイスをもらったりしている。今後実施していきたい。                                   |
|              | 25 (自立支援)協議会子ども創成や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか   | 3     | 0         | 0   | 2   | 60.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 40.0% |  |  |
|              | 26 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | 3     | 0         | 0   | 2   | 60.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 40.0% |  | ・振り返りの時間に短時間ながら保護者と話し合い、発達の状況や課題について共通理解を図っている。  |
| 保護者への説明責任等   | 27 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
|              | 28 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか                         | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
|              | 29 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
|              | 30 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか   | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
|              | 31 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% | ・きらきら通信の配布だけでなく、保護者に有益な研修情報を発信したり、ブログで活動の様子を週1のペースでアップして見ていただくようにアナウンスしている | ・昨年はSVが1人で更新を行っていたが、今年からは正職員員で、ブログ更新にあっている。  |
|              | 32 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
|              | 33 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか   | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
| 非常時等の対応      | 34 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか  | 3     | 1         | 0   | 1   | 60.0%  | 20.0%     | 0.0%  | 20.0% |  | ・訓練後は訓練の状況等を利用者様向けに加えていただくように掲示等を工夫していきたい。   |
|              | 35 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |
|              | 36 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のことなどの状況を確認しているか   | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  | ・プロフィールシート、受付シートに記入欄が設けられているが、今後は口頭での確認も加えていきたい。   |
|              | 37 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% | ・今後事例を増やしていきたい   | ・ヒヤリハットが起きないような環境・場面づくりも強化したい。   |
|              | 38 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 4     | 0         | 0   | 1   | 80.0%  | 0.0%      | 0.0%  | 20.0% |  |  |